

研究機関名：国立大学法人筑波大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和7年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人）	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円）	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円）
JST 先端国際共同研究推進事業（基金）	1	1,722,000	1,722,000
JST 革新的GX技術創出事業（基金）	1	2,974,000	2,974,000
JST 戦略的創造研究推進事業（AIP加速課題）	1	2,550,000	2,550,000
JST 戦略的創造研究推進事業 ALCA-Next	1	1,800,000	1,800,000
JST 戦略的創造研究推進事業（CREST）	1	2,400,000	2,400,000
JST 戦略的創造研究推進事業（さきがけ）	5	4,131,000	4,131,000
JST 戦略的創造研究推進事業（CRONOS）	1	1,116,000	1,116,000
JST 創発的研究支援事業	10	7,000,000	7,000,000
AMED 革新的先端研究開発支援事業（AMED-RIME）	2	2,200,000	2,200,000
AMED 革新的先端研究開発支援事業(AMED-CREST)	2	2,875,000	2,875,000
AMED 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム	1	1,321,000	1,321,000
AMED 難治性疾患実用化研究事業	1	1,200,000	1,200,000
AMED 生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）	1	1,430,000	1,430,000

(別添様式3)

AMED 次世代ヘルステック・スタートアップ 育成支援事業	1	2,002,000	2,002,000
NEDO 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)	2	4,987,000	4,987,000
NEDO 官民による若手研究者発掘支援事業 (共同研究フェーズ)	1	1,600,000	1,600,000
NEDO 水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業	1	1,200,000	1,200,000
BRAIN 戦略的スマート農業技術の開発・改良	1	1,000,000	1,000,000
防衛装備庁 安全保障技術研究推進制度	1	3,750,000	3,750,000
合計	35	47,258,000	47,258,000

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

(本制度に申請した研究代表者等への研究力強化策)

- ・研究代表者等へのインセンティブ付与 (特別貢献手当の支給) により、研究代表者等の処遇改善を行い、研究パフォーマンスの向上や課題推進のモチベーションにつながった。
- ・特別貢献手当について、具体的に下記のような活用、効果があった。
 - ・出張時の子の保育費用などに使用し、子育て中でも領域会議や学会に参加しやすくなった。
 - ・延長保育・シッター代に充当することで研究時間が確保できた。
 - ・育児に伴う送迎等の業務をベビーシッター等で代替することが可能となり、研究に専念できる時間が確保された。

(本部が講じた研究力強化策)

- ・全学的な研究支援を担う人材として研究推進部に配置する3名の事務職員の人件費として使用した。
- ・創発的研究支援事業、日本学術振興会に係る事業、研究デザイン室・研究マネジメント室の支援等を中心に、若手・中堅研究者の育成、研究環境の整備、外部資金獲得の支援等に係る全学的な研究支援を展開し、本学の研究力強化に貢献した。

(別添様式3)

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

(<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/kyousoutekikennkyuuhiseido>)